

一般社団法人 日本応用地質学会  
令和3年度・2021 年度  
第1回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会 議事録(案)

日 時 : 2021 年 6 月 25 日 (金) 15:00~17:30

場 所 : 国際航業株式会社 本社 大会議室、Zoom を用いた Web 会議 (併用)

出席者 : 長谷川委員長、菊地副委員長、加地委員、百嶋委員、安田委員、山下委員、山田幹事  
委任状提出: 越谷委員、昆委員、徳楠委員、水野委員、百瀬委員

陪席: 茶石顧問

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2021 年 4 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。

2. 理事会報告

- ・令和 3 年度第 2 回・第 3 回理事会の内容について報告がなされた。

3. IAEG JAPAN 運営委員会活動について

(1)IAEG 事務連絡

1)IAEG Newsletter 関連

- ・2021 No.1 の内容について説明がなされた。
- ・2021 No.2 の投稿原稿については、令和 3 年度定時社員総会・シンポジウム、KSEG 講義を素材として作成し、IAEG 事務局へ提出する。

2)Webinar Call 関連

- ・KSEG シンポジウムで作成した動画を加工したものについて、次回の総務委員会(7月)へ諮ったうえで、IAEG へ提供する。

3)アジア各国との交流について

<韓国>

- ・KSEG-JSEG-会長の連絡調整は委員長が行う。講演準備(主に発表用パワーポイント作成)は、担当委員が主体となって行う。
- ・KSEG 秋の研究発表会のスケジュール(10 月頃?)について、KSEG の会長に確認し、JSEG 会長に情報を共有する。合わせて、IAEG Korea National Group にも情報を共有する。
- ・秋の研究発表会での講演準備について、約 30 分と想定してパワーポイント 30 枚程度(JSEG 紹介&会長の研究紹介)を作成する。その際、事前に韓国国内での応用地質学分野におけるトレンドを調査し、内容への反映を試みる。
- ・KSEG から JSEG への講演受け入れは、コロナ禍が収束する 2022 年度以降とする。来年度(シンポジウム、研究発表会、若手技術者交流会など)に実施する場合は、早めに理事会へ話を通しておく。

## <CHINESE TAIPEI>

- ・まずは CHINESE TAIPEI Regional Group 関係者に対して、JSEG と KSEG の間で Webinar 等の交流を始めた旨を情報共有し、CHINESE TAIPEI Regional Group 側の反応を確認する。

## <その他>

- ・今後、各国との交流を活発化していくことを想定した場合、事前に講演協力して頂ける候補者や災害地質研究部会(60周年特集記事など)の協力を得た上で、発表用素材(英語版PPT)を常備しておくのが望ましい。

### 4)IAEG 会費請求 関連

- ・会費の支払い状況について説明がなされた。

## (2)その他

### 1) 学会誌 Bulletin 紹介

- ・学会誌 8月号での掲載予定記事を確認した。引き続き最終稿の提出へ向けて対応を進める。
- ・第24回目からは、新しいスタイルに変更する。
- ・新スタイルでは翻訳時の担当者の負担軽減のため、原稿は最大2ページ程度とする。内容は、各担当が興味のある分野の論文を2、3編紹介するスタイルとし、本編の翻訳とにならないよう留意する。
- ・各委員が興味のある分野、得意な分野(複数可)について、ヒアリングを実施する。
- ・半年に1回程度を目標に、投稿論文の分野別傾向を分析する。

### 2) 海外調査団報告書の著作権チェック

- ・チェック作業の進捗状況について説明がなされた。改めて、最終の原稿チェックを行う。
- ・最終チェックの完了後、HP 上での公開について総務委員会に諮る。

### 3) 若手技術者を対象とした海外技術関連情報・知見の発信について

- ・「若手技術者向けセミナー」の開催案について説明がなされた。
- ・本セミナーの開催目的や効果をまとめた趣意書を作成した上で、理事会および NG 代表に諮った上で、開催に向けた準備を進める。
- ・本セミナーの開催に向けた対応は、担当委員のほうで進めていく。

### 4) ダイバーシティ推進特別委員会

- ・令和3年度第1回委員会の議事録について説明がなされた。第2回 Web セミナーは8月末に開催予定とのこと。

### 5) 広報・情報委員会関連

- ・「田中治雄国際積立金助成事業」NL 配信文面については、Web 開催や国内開催の海外シンポジウムでの発表等も助成対象とする内容で、文面案を作成する。

### 6) 海外シンポジウム

- ・現在、学会 HP に掲載中の情報について説明がなされた。適宜内容を最新情報に更新した上で、JSEG\_HP のトップページ及び学会 NL での周知を手配する。
- ・特に学会 NL については、RMEGV2021(登録開始&早期割引期限)・IAEG XIV Congress 2022(アブストラクト締切期限)の2件について周知する。

### 7) 国際会員情報(メールアドレス不明者)

- ・メールアドレス不明の6名について、引き続き情報収集を行う。

#### 4. ホームページ関係

##### (1)JSEG 英語版 HP

- ・今後の HP 更新担当のうち、掲載コンテンツの検討は担当委員が主体となって進める。
- ・SNS の積極活用について:英語版 HP はポータル网站的な位置付けとし、各種情報の更新は Facebook や Twitter を活用する方向で検討を進める。まずは、各サイトに最適な発信情報の仕分けや問題点を洗い出す。
- ・SNS によるサイト開設に際しての注意事項等について、広報・情報委員会に確認する。
- ・直近での新たな試みとして、国内災害情報の速報的な情報提供 (SNS) や災害調査団写真集コーナー新設 (HP) などの対応準備を進める。

##### (2)JSEG 日本語版 HP

- ・更新状況について確認した。引き続き、必要に応じて更新を行う。

#### 5. 海外情報の共有

- ・次回国際委員会での海外アラカルト③の講演は、担当委員にご協力頂く。

#### 6. その他

- ・IAEG ホームページでの JapanNG の情報が古いため、更新を依頼する。
- ・火山国際会議への国際委員会メンバーの関わり方(当日の運営補助など)について、事務局サイドへ確認しておく。
- ・次回委員会(令和3年度\_第2回)は、令和3年8月下旬に開催する方向で調整する。

以 上